滝　勝弘（たき　まさひろ）

録画映像

日本共産党津市議団（にほんきょうさんとうつしぎだん）

生活保護の扶養照会をやめよ

問　生活保護を申請する際に、親族に援助可能か問い合わせる扶養照会が申請を阻む大きな壁になっているが、津市の照会状況は。また、他自治体では１％あるかないかというが、実際に金銭的援助に至った件数は。

　厚生労働大臣が１月に扶養照会は「義務ではない」と答弁している。費用対効果からもやめたらどうか。本人の承諾を得ているのか。申請者にも配慮を。

法や国の通知に基づき適正に事務を行う

答　令和元年度の生活保護開始件数は330世帯で、459名の扶養義務者に直接照会を行っている。金銭的支援に至った件数は集計していないが、その件数は極めて少なく、支援可能との回答があった場合でも、見守りや通院時の送迎、精神的支援のみであることが多い。

　扶養照会は、生活保護法や国からの通知に基づき実施しているが、その際には、生活保護申請者と親族との関係なども考慮しながら、申請者の承諾を得た上で、照会を行うようにしている。

　国からの通知に基づき、引き続き適正に事務を行っていく。

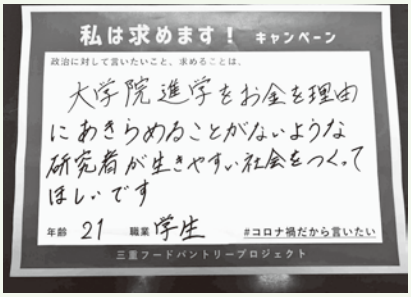
●その他の質疑・質問●

○新型コロナワクチン接種について、誰がいつどこで接種できるかなどの計画状況は。接種を希望しなかった場合どうなるか

○「市民の命と暮らしを守る予算」を文字通りのものに

○バイトを失ったなど困窮する学生の支援を

○「特定自治会に関する諸問題」の再発防止策と、市長の責任は　**など**



▲学生から寄せられた、切実な政治への要求

会派代表質問

岡村　武（おかむら　たけし）

録画映像

至誠会（しせいかい）

迷惑をかけた職員に直接謝るべきでは

問　施政方針の中で、特定の自治会に対する諸問題について、「職員が困難な問題を抱え込み、苦しんできたことへの反省を踏まえ」と述べているが、市長は、何を反省しているのか。

　今までも、このようなことは、多々あった中で、市長が反省しているのであれば、幹部職員だけでなく、一般の職員まで、迷惑をかけた職員に直接謝るべきでは。

市長の気持ちを職員に伝える機会をつくる

答　どんな組織であっても、そこで働く人が安心して働ける環境をつくることが、組織のトップの責務だと思う。その責務を果たし得なかったことについて、反省している。

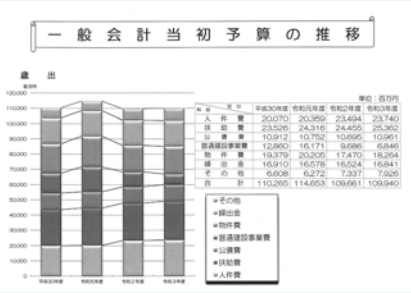
　このような問題に対しては、市役所全体が毅然として、しっかりと向き合っていかなければいけないが、そのための仕組みが十分でなかったと、反省している。

　幹部職員をはじめ、一般の職員も大変苦しい目に遭っていたことについて、本当に申し訳なく思っており、直接その気持ちを伝えるような機会をいずれつくらせていただく。

●その他の質疑・質問●

○施政方針について

- 津波避難ビルを活用した訓練を繰り返し実施すべき
- 消防活動が困難な道路狭あい地域や、消火栓や防火水槽が整備されていない場所について、安心・安全の観点から、消防としての方向性を示すべき
- 津波の遡上（そじょう）に備えた河川堤防の整備を
- 空き家対策事業の目的は**など**



▲扶助費が増加し、普通建設事業費が減少している